

別紙様式 2

授業科目名	民法入門	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	専門教育科目	開講時期	前期（4月6日～7月29日）
学部・学科等	シテイク学部シテイク学科	曜日	水曜日
必修・選択区分	選択科目	時限（時間）	2限（10:30～12:00）
標準対象年次	2学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	宇都宮シティキャンパス
担当教員名	渡辺 靖明		
電話番号（代表者名）	028-650-6611 （学務課 浮須 [ウキス]	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業概要>民法は、「財産」と「家族」についてのルールを定めます。どちらも私たちの日常の暮らしと生活、そして人生にとって必要不可欠なものです。また、民法は、都市生活・まちづくりにも深く関わる行政法や労働法などの他の法分野とも密接に関連しています。そのため、民法の基礎的知識を持つことは、財産や家族のトラブルに直面してしまったときにも、さらに都市生活・まちづくりで活躍する際にも、きっと役立つと思います。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民法の全体像と基本的な役割、用語の意味や考え方（原則）、また日常の暮らしと生活との関係を理解することができる。 ・民法の視点を踏まえて、具体的事例での問題解決について、深く考え、それを文章で説明できるようになる。 <p><授業計画></p> <p>第1週 ガイダンス／法がなぜ必要なのか－授業の進め方、成績評価方法などを理解し、私たちの社会、生活での法の分類、意義、役割などを学ぶ。</p> <p>第2週 民法の全体像－民法の役割、仕組み、基本的な考え方（原則）などを学ぶ。</p> <p>第3週 民事責任の基礎①－交通事故を題材に民事責任の考え方などを学ぶ。</p> <p>第4週 民事責任の基礎②－交通事故を題材に民事責任と刑事責任、行政責任との違いなどを学ぶ。</p> <p>第5週 財産権の基礎－憲法との関係、物権（占有、所有権）、債権の意味、両者の違いなどを学ぶ。</p> <p>第6週 売買（1）－売買契約、債権債務の意味、考え方、未成年者による契約の効力などを学ぶ。</p> <p>第7週 売買（2）－売買契約における様々な権利義務の考え方、消費者契約法の民法との関係、役割などを学ぶ。</p> <p>第8週 委任・通信販売－委任契約の意味、考え方、特定商取引法の民法との関係、役割などを学ぶ。</p> <p>第9週 貸借－貸借契約の意味、考え方、賃貸借契約における様々な権利義務の考え方、関連する法律の役割などを学ぶ。</p> <p>第10週 クレジットカード－カード取引の仕組み、支払方法の種類、カードの不正使用による救済と責任、約款の意味などを学ぶ。</p> <p>第11週 土地・建物－土地、建物をめぐる登記の意味、考え方、売買契約・権利義務の考え方、様々な法規制などを学ぶ。</p> <p>第12週 家族（1）婚姻・離婚・親子関係－憲法との関係、婚姻、離婚、親子の考え方などを学ぶ。</p> <p>第13週 家族（2）相続－相続の意味、考え方などを学ぶ。</p> <p>第14週 家族（3）後見制度－家族の不法行為に関する法的責任の考え方、後見人の意味、考え方などを学ぶ。</p> <p>第15週 これまでの総括とこれからの展望</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法></p> <p>教科書 潮見佳男他『18歳からはじめる民法』（5版、法律文化社、2023年）2,420円 参考書等 村中洋介ほか『嫌いにならない法学入門』（3版、信山社、2025年）2,750円</p> <p><成績評価法> 期末試験 70%、小テスト 20%、授業への取り組み等 10%</p>		

